

いぬ とし

成年生まれのみなさん、今年はあなたが主役です!

あけまして



石田奈保美さん
(23歳・小川町南海東)

旅行が大好きです。今年はたくさん旅行して見聞を広めたい。また、いろいろな資格を取って職業に生かしたい。それと、県民体育祭の女子ソフトボール競技で、一つでも多く勝ち進めるよう頑張ります!



里永拓行さん
(35歳・豊野町糸石)

今年、年男ということで、良い1年になるように健康面に気を付けたい。また、自分自身に目標を立て、家族のためにも頑張っていきたいと思います。

池田愛璃さん
(11歳・小川町新田)



お兄ちゃんが中学校で卓球をしているので、一緒に練習して上手になりたい。今、学校では器楽部に入っています。友だちと仲良く演奏するのはとても楽しいです。今年は学校の勉強も頑張りたいし、家の手伝いもたくさんしようと思います。

田代さとみさん
(35歳・三角町古氷団地)



家族旅行に行きたーい♡



田代 旭君
(11歳・三角町古氷団地)



田代貴久さん
(35歳・三角町古氷団地)

サッカー、空手、勉強を頑張る!

5人家族のうち3人が成年。健康で家族みんなが笑顔を絶やさず元気に頑張る年にしたいです。

今年の干支「成年」生まれの人にインタビュー 「2006年、どんな年にしたいですか?」

今回4回目の年男・年女です。気持ちだけは3回目のつもりで、夫婦そろって5回目を迎えられるよう病気などしないようにしたいです。



永井 満さん
(47歳・不知火町大見)

永井弘子さん
(47歳・不知火町大見)



中村翔太さん
(23歳・不知火町御領)

入社1年目。仕事にも慣れ、今年はスキルアップのために「住環境コーディネーター」の資格を取りたい。また、何らかの形で地域に貢献していきたいです。



岩井成子さん
(71歳・豊野町糸石)

今年が年女ということは、人に言われて気付いたほどです。今回で6回目ということで、健康面に気を付けて、何事もプラス思考で頑張りたいです。

部活動のハンドボールで、全国大会へ出場できるよう頑張りたいです。



押方京香さん
(11歳・松橋町豊福)



押方 規さん
(35歳・松橋町豊福)

昨年10*。ダイエットに成功したので、今年も目標体重まで頑張って落としたいです。

押方さんの愛犬・ゴン

今年が成年

いぬとし

今年が成年です。

妊産婦の帯祝い「戌の日」が選ばれるように、犬は安産、多産の象徴とされています。では、成年に生まれた人はいくらいるかというと、平成17年1月1日現在の総務省による推計人口では、成年生まれは983万人で、総人口の7.7%を占めています。これは、十二支の中で11番目、酉年(943万人)に次ぐ少なさです。ちなみに一番多いのは、丑年の1117万人です。

犬といえば、「知恵」「勇氣」「誠実」の代名詞のような動物。昔話の「桃太郎」や「花咲爺」に登場するのも、そういう犬たちです。主人が亡くなった後も毎日駅前まで待ち続けた「忠犬ハチ公」のお話は有名です。

このように、犬は昔から、人間の大切なパートナーであったわけですが、今でも、狩猟犬や牧羊犬、盲導犬や警察犬、そして、災害が多い近年では、災害救助犬として、被災地などで活躍する場面を目にすることが多くなりました。

しかし、最近では、屋外で犬を飼うにくいこともあり、室内で飼うことが多くなってきました。そして、過密な都会での犬の飼育方法をめぐって、近隣公害が問題になっています。おりやさくに閉じ込めることなく、人間と行動を共にし、助け合って生きてきた時代から見ると、犬にとっても住みにくい世の中となりました。

ところで、正月の遊びに付き物の「いろはガルト」——あの「犬も歩けば棒に当たる」はどういう意味だと思いませんか? 本来は、「何か物事をしようとすると、それだけに何かと災難に遭うことも多い」ということです。しかし、「何かやっていると、思いもよらぬ幸運に出会うこともある」という意味もあり、こちらの解釈をする人が多いとか……。

どちらの解釈をとるにしても、今年も、慎重な心配りの下に、積極的な努力を惜しまず、「開運間違いなし」といきたいものです。

